

## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

上場取引所 東

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 誠

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	8,043	16.0	1,631	24.3	1,209	-	875	-
2023年9月期第1四半期	6,933	1.3	1,311	13.7	8	△99.5	47	△95.8

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 △205百万円 (△88.0%) 2023年9月期第1四半期 △1,713百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	58.40	-
2023年9月期第1四半期	3.18	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	68,297	48,379	70.8
2023年9月期	70,195	50,384	71.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 48,340百万円 2023年9月期 50,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	120.00	120.00
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	0.00	-	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	6.9	7,800	8.8	7,900	13.6	5,550	9.1	370.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期1Q	15,348,720株	2023年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期1Q	357,440株	2023年9月期	357,391株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期1Q	14,991,292株	2023年9月期1Q	14,991,406株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
3. 補足情報 .....	11
受注及び販売の実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）の世界経済は、ロシア・ウクライナ問題や中東情勢に起因する地政学リスクの上昇や、国内外で進行する物価上昇と政策金利の高止まりによる景気減速懸念など、世界経済全体として不安定な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、不安定な政治経済情勢に伴う設備投資意欲の減退懸念はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である非飲料容器分野において、主力製品である1ステップ機の競争力強化に努めるべく、「ゼロ・クーリングシステム（生産性と容器品質の向上を図る画期的な成形手法）」及び「クイックモールドチェンジ（金型交換時間短縮仕様）」の更なる改良に努めました。また、重点市場である飲料容器分野においては、大量生産から中小ロット生産のあらゆる顧客ニーズに応えるべく、「PF36シリーズ」の機能向上及び中小ロット生産向けの新型機の開発を進めております。更に、顧客と当社をつなぐDX戦略においては、成形機の制御・モニタリングシステムである「Vision1」の提案を進め、遠隔接続による稼働データの可視化及びデータ分析を開始しました。

販売面では、前期に創設した営業本部の指揮のもと、世界各国の営業情報の有機的連携を図り、グローバル顧客への提案力強化に努めた結果、主力の「ストレッチブロー成形機」を中心に、受注高が大きく増加しました。また、安定収益の柱となる「金型」及び「部品その他」は引き続き好調を維持しております。なお、2023年10月に日本本社において開催した社内展示会には、世界40ヶ国から150社・400人の顧客が来場し、4年ぶりの開催として大好評のもとに終えており、引合いの収穫を進めております。

生産面では、前期に完了したインド工場への大規模設備投資により生産能力が増強された結果、インド工場への大型機及び新型機の生産移管が進展しました。現在は、従来から高水準であった金型部品の生産に加え、機械部品の生産状況も向上しており、当社の企業競争力の源泉であるインド工場の有効活用を今後一層進めて参ります。なお、日本本社近隣に用地取得済みである新工場の建設計画につきましては、グローバルな規模での生産最適の観点から引き続き検討を進めて参ります。

環境対応技術では、「CO2削減」及び「プラスチックごみ削減」の2つのテーマにおいて研究開発を進めております。これらのテーマは前述の社内展示会での顧客の関心も高く、業界のリーディングカンパニーとして、環境対応技術で持続可能な社会の実現に貢献して参ります。なお、同技術の詳細につきましては、2023年9月期の決算説明会資料（P.24）に記載しております。

([https://ssl4.eir-parts.net/doc/6284/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym/146727/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/6284/ir_material_for_fiscal_ym/146727/00.pdf))

受注及び販売成績につきましては、前期における海外展示会への積極的な出展に加え、前述の社内展示会での提案強化等が実り、受注環境は好調に推移しました。特に、当第2四半期以降に見込んでいた日本国内の大口案件（PF36）の受注を前倒しで獲得したことにより、当期の受注高は10,913百万円（前年同期比131.2%）と四半期として過去最高を記録しました。その結果、受注残高も17,518百万円（前年同期末比108.4%）と過去2番目の高水準で終わりました。また、売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、8,043百万円（前年同期比116.0%）となり、第1四半期としては過去最高となりました。

利益面につきましては、売上規模の増加に対し、販売管理費を前年同期並みに留めたことで、営業利益は1,631百万円（同124.3%）と増加しました。また、外貨建て資産の圧縮により為替差損の発生が大幅に縮減したことにより、経常利益は1,209百万円（前年同期は8百万円）と大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も875百万円（前年同期は47百万円）と大幅増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	8,043	3,850	1,631	1,209	875
前第1四半期	6,933	3,445	1,311	8	47
前年同期比	116.0%	111.8%	124.3%	—%	—%

## 製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー 成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	3,516	2,947	350	1,228	8,043
前第1四半期	3,446	2,062	449	974	6,933
前年同期比	102.0%	142.9%	77.9%	126.0%	116.0%

製品別の売上高状況につきましては、付属機器以外の全ての製品においてそれぞれ増加しました。特に金型（前年同期比142.9%）及び部品その他（同126.0%）が米州を筆頭に好調を維持しており、大きく売上を伸ばしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント（地域）別受注状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	3,516	1,782	2,940	2,674	10,913
前第1四半期	2,272	1,844	2,955	1,243	8,316
前年同期比	154.8%	96.6%	99.5%	215.1%	131.2%

## セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	2,988	1,660	2,504	890	8,043
前第1四半期	2,907	787	2,237	1,002	6,933
前年同期比	102.8%	211.0%	111.9%	88.9%	116.0%

## セグメント（地域）別利益又は損失（△）

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	445	189	359	1,258	2,253
前第1四半期	342	△84	309	1,395	1,963
前年同期比	130.2%	－%	116.3%	90.1%	114.8%

## ① 米州

堅調な中南米地域に加え、北米でも機械需要が回復した結果、当期の受注高は3,516百万円（前年同期比154.8%）と大きく増加しました。売上高につきましても、豊富な受注残高を着実に消化した結果、2,988百万円（前年同期比102.8%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により445百万円（同130.2%）と増益となりました。

## ② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、生活必需品に根差した当社需要は堅調であり、当期の受注高は1,782百万円（同96.6%）と前年同期並みとなりました。一方、売上高は前期の展示会効果の収穫により1,660百万円（前年同期比211.0%）と大幅増収となりました。また、セグメント利益も前年同期の展示会費用の負担解消により189百万円（前年同期はセグメント損失84百万円）と大幅増益となりました。

## ③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド市場が比較的堅調に推移した結果、当期の受注高は2,940百万円（同99.5%）と前年同期並みとなりました。一方、売上高は、インド市場の牽引により2,504百万円（前年同期比111.9%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により359百万円（同116.3%）と増益となりました。

## ④ 東アジア

日本市場での大口案件（PF36）の前倒し受注により、当期の受注高は2,674百万円（同215.1%）と大きく増加しました。一方、売上高は、中国市場の低迷もあり890百万円（前年同期比88.9%）と減収となり、その結果、セグメント利益も1,258百万円（同90.1%）と減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	49,779	18,517	10,772	9,145	48,379
前連結会計年度	50,699	19,496	10,265	9,545	50,384

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ919百万円減少し、49,779百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ979百万円減少し、18,517百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ1,898百万円減少し、68,297百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ506百万円増加し、10,772百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ400百万円減少し、9,145百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ2,005百万円減少し、48,379百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日公表の予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,578	22,750
受取手形及び売掛金	7,589	7,410
商品及び製品	2,499	2,335
仕掛品	7,752	8,024
原材料及び貯蔵品	8,284	7,980
その他	1,078	1,350
貸倒引当金	△82	△72
流動資産合計	50,699	49,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,483	5,255
機械装置及び運搬具(純額)	6,813	6,249
土地	1,988	1,988
その他(純額)	3,209	3,124
有形固定資産合計	17,494	16,618
無形固定資産	101	96
投資その他の資産		
投資有価証券	466	398
その他	1,562	1,525
貸倒引当金	△128	△121
投資その他の資産合計	1,900	1,803
固定資産合計	19,496	18,517
資産合計	70,195	68,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043	1,907
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	309	248
契約負債	3,719	4,749
賞与引当金	680	344
役員賞与引当金	43	11
その他	1,975	2,017
流動負債合計	10,265	10,772
固定負債		
長期借入金	7,611	7,238
役員退職慰労引当金	578	519
退職給付に係る負債	943	995
その他	412	391
固定負債合計	9,545	9,145
負債合計	19,811	19,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	41,685	40,761
自己株式	△301	△301
株主資本合計	48,440	47,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	188
為替換算調整勘定	1,761	692
退職給付に係る調整累計額	△59	△57
その他の包括利益累計額合計	1,903	823
非支配株主持分	40	39
純資産合計	50,384	48,379
負債純資産合計	70,195	68,297



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,933	8,043
売上原価	3,488	4,192
売上総利益	3,445	3,850
販売費及び一般管理費	2,133	2,219
営業利益	1,311	1,631
営業外収益		
受取利息	57	52
受取配当金	4	5
受取手数料	100	—
その他	23	16
営業外収益合計	186	74
営業外費用		
支払利息	8	10
為替差損	1,433	406
訴訟関連費用	41	16
その他	6	62
営業外費用合計	1,490	495
経常利益	8	1,209
税金等調整前四半期純利益	8	1,209
法人税、住民税及び事業税	46	298
法人税等調整額	△84	37
法人税等合計	△37	335
四半期純利益	46	874
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	47	875

## (四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	46	874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	△12
為替換算調整勘定	△1,813	△1,069
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△1,759	△1,080
四半期包括利益	△1,713	△205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,711	△204
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,907	787	2,237	1,002	6,933	—	6,933
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,907	787	2,237	1,002	6,933	—	6,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	3	2,270	3,796	6,090	△6,090	—
計	2,926	790	4,507	4,798	13,023	△6,090	6,933
セグメント利益又は 損失(△)	342	△84	309	1,395	1,963	△651	1,311

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△651百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△755百万円、セグメント間取引消去103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,988	1,660	2,504	890	8,043	—	8,043
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,988	1,660	2,504	890	8,043	—	8,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	6	2,570	4,500	7,091	△7,091	—
計	3,002	1,667	5,074	5,390	15,134	△7,091	8,043
セグメント利益	445	189	359	1,258	2,253	△622	1,631

(注) 1. セグメント利益の調整額△622百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△672百万円、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の実績

## ① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	4,571	9,293	5,907	9,556	129.2	102.8
金型	2,317	5,500	2,957	6,432	127.6	116.9
付属機器	426	1,153	676	1,209	158.5	104.9
部品その他	1,000	221	1,372	321	137.2	144.8
合計	8,316	16,168	10,913	17,518	131.2	108.4

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	2,272	3,975	3,516	5,239	154.8	131.8
欧州	1,844	3,421	1,782	2,258	96.6	66.0
南・西アジア	2,955	4,677	2,940	5,165	99.5	110.4
東アジア	1,243	4,093	2,674	4,854	215.1	118.6
合計	8,316	16,168	10,913	17,518	131.2	108.4

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

## ② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	3,446	49.7	3,516	43.7	102.0
金型	2,062	29.7	2,947	36.6	142.9
付属機器	449	6.5	350	4.4	77.9
部品その他	974	14.1	1,228	15.3	126.0
合計	6,933	100.0	8,043	100.0	116.0

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	2,907	41.9	2,988	37.1	102.8
欧州	787	11.3	1,660	20.6	211.0
南・西アジア	2,237	32.3	2,504	31.1	111.9
東アジア	1,002	14.5	890	11.1	88.9
合計	6,933	100.0	8,043	100.0	116.0